

# 平成27年度 事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 手話教師センター

## 1 事業の成果

【育成】定例会を年に4回実施した。△教師育成の一環として行なわれる日本手話ブラッシュアップ講座は定例会のある日の午前に4回実施し、また、集中タイプのを1回実施した。△ナチュラル・アプローチ手話教授法講座に関しては3ヶ所(代々木・三田・宮城)、4講座を実施することができた。

【研修】集中研修会(旧:一泊研修会)および大会については例年通り実施することができた。△自主勉強会の助成申請数は前年比6件減の2件のみであった。また、スペシャル自主勉強会(大会研究発表に向けた自主的な勉強会)に対する助成も行なった。△ASLTA(アメリカ手話教師協会)に2人を派遣した。

【派遣】手話教師派遣件数は単発のものも含め数十件であった。派遣先として契約しているところは2ヶ所である。また、試行中の個人レッスンは、大学関係者および教育関係者を対象に実施した。

【開発】DVDプロジェクト活動が沈滞しており、教材開発の成果(DVDの発行)が出なかった。

【翻訳・通訳】日本財団から「日本手話に特化した翻訳・通訳技術向上支援事業」の助成金を得、翻訳講座(全5回×2。全3回×1回)、e-ラーニング講座(全3回×2)、翻訳・通訳講師養成講座(全10回)、ろう通訳シンポジウム(3ヶ所)、新規にろう通訳養成講座(日本語クラス全20コマ、ISクラス全20コマ)、フィーター養成講座(全15コマ)、通訳理論講座(全15コマ)を実施することができた。

【啓発】LINEのIDを取得し、啓発手段がホームページ、Facebook、LINEと多様になった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
手話教師育成事業	定例会の開催	年4回	国立オリンピック記念青少年総合センター	15名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 手話学習者・手話通訳者 約400名	1,954
	日本手話ブラッシュアップ講座等における教師育成	年5回	国立オリンピック記念青少年総合センター・池上会館	10名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 手話学習者・手話通訳者 約80名	
	ナチュラルアプローチ手話教授法講座への教師派遣	年12回×4カ所	東京(代々木・三田)、宮城	8名	手話教師をめざすろう者及びコーダ 約40名	
手話教師研修事業	集中研修会(フォローアップ及びスキルアップのための勉強会)	年に2回 5月 12月	国立オリンピック記念青少年総合センター	20名	手話教師 約120名	1,927
	日本手話教育研究大会	年に1回 7月	国立オリンピック記念青少年総合センター	10名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 約200名	
	手話教師育成指導者研修会	年に1回 2月	静岡(熱海)	1名	手話教師指導者 18名	
	手話教師自主研修会	通年	東京	6名	手話教師 約180名	
	海外研修派遣	年に1回 6月	米国	1名	手話教師 2名	
手話教師派遣事業	手話教師の派遣	通年	事務所	2名	手話教師30名 学生・手話学習者/一般市民 約2,500名	1,419
手話教授法に関する教材開発事業	ナチュラルアプローチ法に適した手話指導書及び受講生用のテキストを作成し、出版する	通年	事務所	2名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 手話学習者・手話通訳者 約10名	2

翻訳・通訳に関する事業	翻訳講座(e-ラーニング講座含む)の開講	通年	三田(田町) 代々木・池袋	3名	手話学習者・手話通訳者等 約50名	9,529
	通訳理論講座の開講	通年	代々木・東京等	3名	ろう者(指導者等)・ろう通訳者 手話通訳者等 約15名	
	講師(翻訳・通訳)養成講座の開講	通年	代々木・東京等	3名	講師をめざすろう者 約10名	
	ろう通訳者・フィーダー養成講座の開講	通年	代々木・東京等	3名	通訳をめざすろう者、フィーダーをめざす手話通訳者 約15名	
	ろう通訳シンポジウムの開催	年 3か所	愛媛・鹿児島 宮城	30名	ろう者 手話学習者・手話通訳者 約300名	
ろう者特有の文化に関する普及啓発事業	手話教師センターのホームページを設置、運用	通年	事務所	2名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 手話学習者・手話通訳者 約400名	60